

2005 年度

アンカー勝負制し、2年ぶり頂点へ

関西実業団駅伝 (和歌山県：龍神村 80.45km)

4時間00分15秒 (優勝)



アンカー勝負を制し、トップでゴールテープを切る大塚製薬の山岡
和歌山県田辺市龍神村

大塚製薬 2年ぶり優勝

2位に3秒差 アンカー勝負制す

期待の若手台頭 価値あるV奪還

大塚製薬

大塚製薬、山陽特殊製鋼、佐川急便による三つどもえのアンカー勝負を制した大塚製薬の山岡が、人さし指を立てた両手を高く掲げてゴールに飛び込んだ。

2位とはわずか3秒差。昨年、アンカー勝負で山陽特殊製鋼に敗れたチームを再び頂点に押し上げた入社2年目の24歳は「スパートには自信があった。最高の気分がチームメイトに胸上げさせ、劇的レースを制した感激に浸った。」

大塚製薬、山陽特殊製鋼、佐川急便、他チームの布陣を考えると、前半に貯金がほしかった。ところが、6区水口から山岡にたすきが手渡された時点で、トップとは28秒差の3位。優勝の二文字はかすんだ。

しかし「あきらめずに前を追うことだけを考えた」という山岡が、強気な山陽特殊製鋼・高野、佐川急便・金子を一気に追いつき並走。残り約3分で金子が遅れ始め、高野との一騎打ちになると、残り三百

河野監督は「久しぶりに目頭が熱くなった」と振り返り「山岡はたくましくなった。控えを含め、他の若手の刺激になる」と喜んだ。チーム力の底上げが進み、元日のニューイヤークリスマス駅伝への期待が膨らんだ。

(大阪支社・延慎太郎)